

文化団体紹介

新十津川町文化協会に加盟する団体を紹介します。

今月号は新十津川民謡同好会です。見学は自由で、会員募集をしています。

新十津川民謡同好会

団体概要

新十津川民謡同好会 新玉会
(しんぎょくかい) など町内に複数の民謡同好会がありました。昭和57年に町内を統一する民謡団体として発足。以来40年にわたって活動しています。

※民謡とは 民衆の歌謡

庶民の集団生活の場で生まれ、多くの人々に長く歌い継がれ、生活感情や地域性などを反映して

る。田植歌・草取歌・米搗歌・桑

摘歌・茶摘歌・馬子歌・舟歌などの労働歌、婚礼歌・新築歌・祭礼歌のような祝い歌、踊歌などがこれに属する。(広辞苑)

月会費 1500円

活動日 月3回、毎週木曜日 午後7時～9時

活動場所 ゆめりあ

会員数 6人

部長 奥田幸雄

活動内容

歌の指導者と、三味線の指導者を会の中から選出して、練習しています。花月神社例大祭、余興、町民文化祭、施設慰問、空知大会(全道大会予選会)などで成果の披露をしています。

過去には全道大会入賞、全国大会入賞の実績もあります。

会員から一言

・和気あいあい、歌を歌って、三味線を弾いて、太鼓をたたいて、派手さはなくとも素朴に練習しています。

・大きな声を出すこと、三味線と

太鼓の音色、この3つを合わせるのが難しいですが、これに挑戦する楽しさ、できた時の喜びに民謡の魅力を感じています。

・津軽モノ(津軽じょんがら節、津軽おはら節など)を習得しようとして取り組んでいます。華やかな三味線と、哀愁を漂わせる歌声を披露したく思っています。

・民謡といえば三味線です。一緒に練習しませんか？

・先人がやってきたことをつなぐ使命として、民謡を続けていきます。共に練習しませんか？



問合せ 文化協会事務局 (教育委員会内) ☎ 76-4233